

「食道癌手術後の異時性胃癌（胃管癌）に対する全国実態調査」

【はじめに】

食道癌の手術では、食道を切除したあとに胃を持ち上げて再建することが一般的です。近年、手術後の胃に胃癌が見つかることが増えていますが、全国的な調査は行われておらず、治療法や治療成績などの実際はよく分かっていません。この研究では食道癌の診療で中心的な役割を果たしている全国の施設からデータを集積して解析することにより、食道癌手術後の胃癌に対する治療成績の向上を図ります。

【対象の患者様】

千葉大学医学部附属病院 食道・胃腸外科において 2001 年 1 月 1 日～2015 年 12 月 31 日までに食道癌手術後の胃癌の診断を受けた患者様を対象にいたします。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1

電話番号：043-222-7171

千葉大学医学部附属病院 食道・胃腸外科 村上 健太郎

【研究内容】

食道癌の診療で中心的な役割を果たしている全国の施設が共同で行う研究です。食道学会研究推進委員会（研究事務局）（代表研究者：九州がんセンター 消化器外科 藤 也寸志 院長）でデータの集積および解析を行います。

調査をする内容は、手術から胃癌診断までの期間や診断法、治療法、治療成績などです。

【個人情報の管理について】

個人情報漏洩を防ぐため、千葉大学食道・胃腸外科においては、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することが出来ないように厳重に管理しております。

また、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文など）の際には、患者様を特定できる情報は一切含まれません。